



この部分を切り取って、コピーして障害のある方へのマニュアルとして活用できます。

事例
4

果樹共通 せん定枝の片付け

易 ● 中 難

せん定が終わった畑に落ちている枝を拾って集めます



- ① ● 枝を拾う範囲と集める場所を、あらかじめ、確認・指示しておく

手順



- ② ● 細かな枝も丁寧に拾う

手順



- ③ ● あらかじめ指定した場所に枝を集める
● 長いものは1 m程度にせん定バサミで切断する

手順



- ④ ● 太い枝は別の場所に集める

手順

使用するもの



せん定バサミ

作業時期 12月上旬～2月下旬

服装

- 寒い時期の作業のため、防寒対策をしっかりとる
- 枝が引っかかりやすいので、セーターなどの服装は避ける
- 枝でケガをしないように、厚手の手袋(皮手袋等)を着用する

注意する点

(作業者)

- 細かい枝まで丁寧に拾い、できるだけ枝の方向を揃えて集める(後で運んだり、粉碎機に入れるため)

(支援者)

- 拾い残しがないように、あらかじめ一人ひとりの作業の範囲を決めておく
- 長時間、前傾した姿勢になるので、時々背伸びなどを行う
- 複数で作業する場合、あまり近くで作業すると枝が当たって危険なので、作業者同士の距離を保つようにする





この部分を切り取って、コピーして障害のある方へのマニュアルとして活用できます。

事例
5

スイートコーン 皮むき

易 中 難

加工用に皮をむきます



- ① ●片手で実を持ち、もう片手で皮の先端を掴み、下に引き下ろす
- 手順



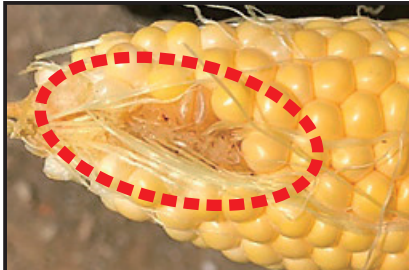
- ② ●引き下ろした皮を片手でまとめて持ち、反対側の皮も同様に引き下ろす
- 手順



- ③ ●片手で実を、もう片手でまとめた皮と実の下の軸を持ち、実を倒すようにして軸を折り取る
- 手順



- ④ ●絹糸(けんし:『ひげ』)を取り除く(手袋で実を軽くこすると取りやすい)
- 手順



- ⑤ ●虫食いのある実は、別の容器に取り分けておく
- 手順

作業時期 6月上旬～8月上旬

服装

- 畑以外の場所での作業のため、比較的軽装でよいが、気候に応じた服装とする
- 軍手では皮がむきにくいので、ゴムでコーティングされた手袋を使用する

注意する点

(作業者)

- 皮をむく際に、力を入れすぎて実を潰さないようにする
- 虫食いや先端に実が入っていないもの等は別の容器に取り分ける

(支援者)

- 折り取った軸の先端等でケガをしないように注意する
- 虫食いや先端に実が入っていないものなどは、目安となるものを用意しておく





この部分を切り取って、コピーして障害のある方へのマニュアルとして活用できます。

事例
6

いちご 苗の定植

易 ● 中 ● 難 ●

ポットで育てたいちごの苗を畑に植えます



①

- いちごの苗が入っているポットを少しもむ ※ポットが割れないように軽い力でもむ

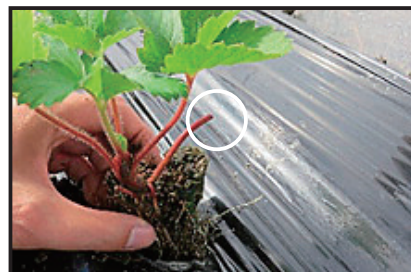
手順



②

- カットしてある茎の部分を掴み苗を引っ張り出す
- 根をほぐす

手順



③

- カットしてある茎が奥になるようにして、マルチの穴が開いている部分に入れる

手順



④

- 周りの土を寄せながら押し込む

手順



⑤

- 根が飛び出していないこと、苗が浮いていないことを確認する

手順

作業時期 10月上旬～中旬

服装

- 暑い時期のため、比較的軽装でよいが、紫外線が強いので、長袖、帽子着用が望ましい
- 手袋を使用する(薄手の作業用のものを準備する)

注意する点

(作業者)

- 苗を取り出す際、力いっぱいもんでしまうとポットが破損してしまうので注意する
- 根が少し茶色がかっている物は根をほぐしてばらけさせる(ある程度、白いきれいな根であればそのまま植えてもよい)
- 土を寄せる際は、マルチを破かないように注意する(苗を押し込んでから、周囲の土を寄せる方がよい)

(支援者)

- 天候によってハウス内が高温になるので、休憩、水分補給のタイミングに注意する
- 一人で両方の作業が困難なときは、二人以上で分担することも考慮する
(苗の取り出しとポットの整理+植え付け)
- 植え方が適切か、最終確認を行う





この部分を切り取って、コピーして障害のある方へのマニュアルとして活用できます。

事例
7

だいこん 洗浄

易 中 難

収穫しただいこんを出荷するため、機械を使って洗浄します



- ① ● 収穫しただいこんを袋から取り出す
※虫食いや割れたものは廃棄する
- 手順



- ② ● だいこんの先端を洗浄機の回転しているブラシに押しあて、土の汚れを落とす
- 手順



- ③ ● だいこんを水平にしてゆっくり洗浄機へ投入する
- 手順



- ④ ● 洗浄機から出てきただいこんを水につけながら手で洗う
- 手順



- ⑤ ● 洗い終わっただいこんの向きをそろえ、コンテナに入れる
- 手順

使用するもの



エプロン

作業時期 10月上旬～11月下旬

服装

- 寒い時期であり、防寒対策をしっかりとする
- 水を使う作業のため、撥水性のあるジャンパーやズボンの着用、ビニール製のエプロンなどの着用が望ましい
- 作業時は水はねなどで汚れるため、できるだけ長靴を履くようにする

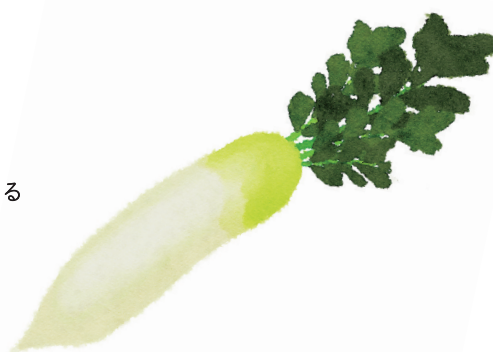
注意する点

(作業者)

- 作業全般にわたってだいこんにキズがつかないように注意する
- 指示された本数以上のだいこんをコンテナに入れない

(支援者)

- 冷たい水を使うので、大量に作業を行う場合には、適宜休憩をとるようにする
- 一人ですべての作業が困難なときは、二人以上で分担することも考慮する
(洗浄+だいこんの手渡し・運搬など)





この部分を切り取って、コピーして障害のある方へのマニュアルとして活用できます。

事例
8

さつまいも 収穫後の手入れ、仕分け

易 中 難

収穫したさつまいもの根を切って、大きさ別に仕分けします



①

●台になるコンテナの上にさつまいもを入れるコンテナを置き、作業ができる環境をつくる

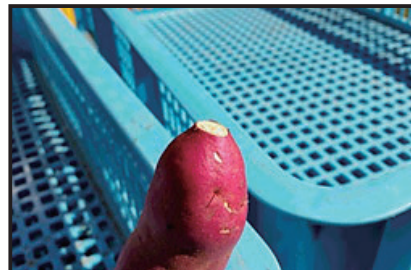
手順



②

●さつまいもの両端の根の部分をハサミまたは包丁で1cm~2cm位切る

手順



③

●切り取った状態

手順



④

●長さ、大きさ別に選別する
※あらかじめ大きさ別の見本を作っておく

手順

使用するもの



ハサミ

エプロン

作業時期 11月上旬~12月下旬

服装

- 寒い時期であり、防寒対策をしっかりとする
- 作業時は泥で汚れるため、ビニール製のエプロンを着用するとよい
- ハサミでケガをしないように、やや厚手の手袋を着用する

注意する点

(作業者)

- キズや傷みの多いものは別のコンテナにまとめておく
- ハサミでいもの表面を傷つけないように注意する
- コンテナに入れる際は、傷つけないように丁寧に置く

(支援者)

- 大きさの区別がつきやすいように、あらかじめ大きさの目安となる見本を準備しておく
- どのようないものを廃棄するか、見本を準備しておく



事例9(花苗(ビオラ) 鉢上げ準備)



この部分を切り取って、コピーして障害のある方へのマニュアルとして活用できます。

事例
9

花苗(ビオラ) 鉢上げ準備

易 中 難

花苗の鉢上げ用に、鉢に育苗用土を詰めます



① ●プラスチックのトレイに鉢を並べる

手順



② ●鉢を並べたトレイをベニヤ板の上に置く

手順



③ ●土詰め用の枠をトレイの上に置く(鉢の位置と穴の位置を合わせる)

手順



④ ●枠の上にスコップで土をのせる

手順



⑤ ●スコップで余分な土を取り除ける

手順



作業時期 8月上旬～下旬

服装

- 暑い時期のため、比較的軽装でよいが、紫外線が強いので、長袖、帽子着用が望ましい
- 鉢を並べる際は薄手の手袋を、スコップを使用する際は厚手の手袋を着用する

注意する点

(作業者)

- 鉢が2枚重ねにならないよう注意する。
- 土詰め用の枠の上からスコップでならずことで、鉢の中に土が入っていくが、十分に土が入らない鉢もあるので、できるだけ鉢に入っている土の量を一定にする(水やりの際、育苗用土の湿り気がばらつかないように)

(支援者)

- 鉢を並べる係と土を詰める係で分業して行くと効率が良い
- 鉢を並べる際の作業姿勢の負担軽減として、鉢を入れるトレイを置く台や作業用のイスを準備する

